

月齢と気象災害の起日について (第2報)*

瀬戸 恒 銳**

1. まえがき

第1報で月齢と気象災害(水害に関係あるもの)の起日について1943~1962年の資料を用いて検討した。

その結果、気象災害は上弦、下弦のころによく起こっており、アメリカで見出された新月、満月の1週間後は雨が多いという結果と大体一致していることがわかった。

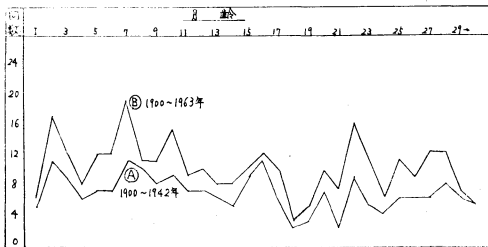
幸い、1900~1942年の月齢関係が入手できたので1900年以降の気象災害の起日と月齢との関係をまとめてみた。

2. 資料・調査方法

月齢は神宮暦によって求めた。日本気象災害年表(第17号)から本邦に起こった気象災害(水害関係)の起日を決定し、その原因を台風、低気圧(前線をふくむ)に大別し、月齢との関係を求めた。

3. 長崎の大雨日と月齢

1900~1942年において長崎で大雨注意報発表基準70mm以上を越す大雨が観測された203回について月齢との関係をみると第1図Aのようになる。



第1図 長崎の大雨日と月齢

即ち、朔、上弦、満月、下弦のころに多く観測されており、大体1週間おきに降水の山がみられる。

1900~1962年をまとめると、第1図Bのとおりになる。最も多いのが上弦のころ、そして下弦、新月のころ

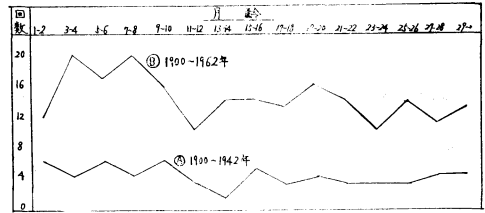
* Relationship between Date of Meteorological Disasters and the Age of the Moon (II)

** T. Seto 長崎海洋気象台
—1965年4月1日受理—

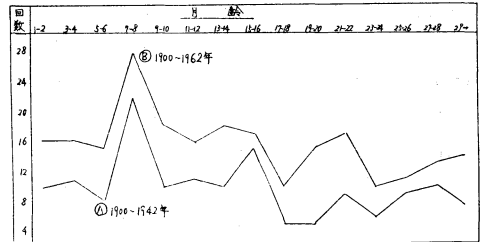
に多く、アメリカで見出された新月、満月の1週間後は雨が多いという結果とも略一致する。

4. 低気圧(前線をふくむ)により災害がおこつた、日と月齢の関係

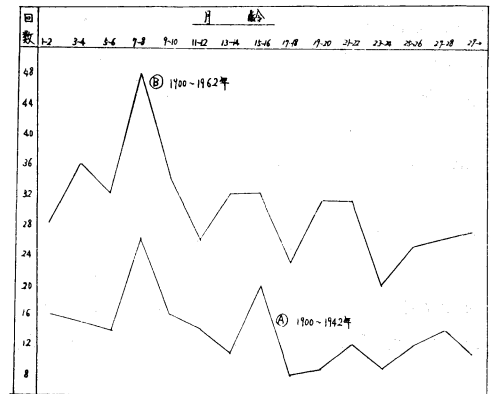
1900~1942年において低気圧、前線による災害は59回おこっており月齢との関係は第2図Aに示すとおり、はっきりした傾向はでていないが新月から上弦の間に多いようである。



第2図 低気圧前線による災害の起日と月齢



第3図 台風災害の起日と月齢



第4図 気象災害の起日と月齢

次に、1900~1962年をまとめると第2図Bのようになり新月後3~8日に災害の極大がみられ、ついで満月頃から下弦にかけて災害が多くおこっていることがわかる。

5. 台風により災害がおこつた日との関係

台風災害と月齢の関係は第3図に示すとおりである。

A. (1900~1942年)では上弦、満月の頃に多いことがわかる。

B. (1900~1962年)でも同様に上弦のところに災害の極大がみられ、ついで、満月、下弦のところに災害の極大がみられ、ついで、満月、下弦のところに多いことがいえる。

6. ま と め

第4図に1900~1962年の気象災害(低気圧、前線台風による)と月齢の関係をまとめたが、上弦付近に極大がはっきりみられる。ついで、満月、下弦のころによく起こっていることがいえる。

7. む す び

この調査では上弦、満月、下弦付近で気象災害が多いと一応結論したが、今後もそうなるものか、その他の問題も残っている。

最後にご指導いただいた山田台長、菊地海上気象課長、根本予報官にお礼を申しあげる。

CALENDAR OF COMING EVENTS (after WMO Bulletin Vol. XV No. 1 January 1966)

World Meteorological Organization

- 7-18 February 1966 Regional Association V (South-West Pacific), 4th session, Wellington, New Zealand
 23 February-4 March 1966 Executive Committee Working Group on Antarctic Meteorology, Melbourne, Australia
 1-18 March 1966 Commission for Agricultural Meteorology, Working Group on Agrotopoclimatology, Geneva, Switzerland
 8 March-3 April 1966 Commission for Synoptic Meteorology, 4th session, Wiesbaden, Germany
 18-22 April 1966 (tentative) WMO Advisory Committee, 3rd session, Geneva, Switzerland
 25 April-9 May 1966 WMO/ECAFE 4th Inter-Regional Hydrologic Seminar, Bangkok, Thailand
 3-7 May 1966 WMO/IAMAP/COSPAR Symposium on Interaction between the Upper and Lower Layers of the Atmosphere, Vienna, Austria
 26 May-10 June 1966 Executive Committee, 18th session, Geneva, Switzerland

Other International Organizations

- 31 January 1966 Inter-Secretariat Meeting on Air Pollution, Geneva, Switzerland
 31 January-4 February 1966 12th session Maritime Safety Committee (IMCO), London, England
 1-26 February 1966 5th European-Mediterranean RAN Meeting (ICAO), Geneva, Switzerland
 8-15 March 1966 21st Annual Conference IFALPA, Auckland, New Zealand
 21 March-1 April 1966 Meeting of the Plan Committee for Europe and Mediterranean Basin (ITU), Paris, France
 3-9 April 1966 International Symposium on the Impact of Biometeorology on the Health Problems and the Economics Development of the Middle East, Lakloul, Lebanon

なおこの他に Symposium on Methods in Agroclimatology を1966年7月23日~30日の間 Reading University, England で開催することが UNESCO により計画されている。